価格は本体価格です

教育相談のための総合調査　シグマ　（大阪心理出版）

監修：日本生徒指導学会　八並光俊

テストの標的	最近は児童虐待やＤＶなど、教師の目の届かない家庭問題が多発しており、家庭環境に対するアセスメント・ニーズが高まっています。シグマは生徒個人のアセスメントと同時に、学級や学校、家庭という環境的なアセスメントが行えるコンピュータ採点方式の総合的な教育相談調査です。
適用年齢	高等学校用／中学校用（集団式：コンピュータ採点）
実施時間	５０分
学校用採点	検査用紙・コンピュータ採点料込み　１名分　584円（税込630円） （オプション）データ検索ＣＤ作成　１名分　28円（税込30円）
検査の概要	本検査の特徴は「勉強に集中できない」という「学習についての充実感尺度」が第一尺度として表示されることで、集中できない原因を「自己を見つめる」（自己否定感尺度）や「人びとの中で生きる」（対人不適応尺度）から探索していく構成です。 自己否定感のある生徒は １，不登校や中途退学のおそれ ２．回避性パーソナリティ障害（自信がなくて回避する） ３．境界性パーソナリティ障害（リストカット等の自傷行為） ４．不安定型愛着障害 ５．発達障害の二次障害 などが真の原因であることが多く、「相談相手に望んでいる人」や「成績の自己評価」「生活態度の判断」を加味して生徒の現状を探索していきます。特に、自己否定感は放っておくと「無気力」や「投げやり」な生活態度の原因となり、「不登校」や「中途退学」「学習不振」を招くため、認知行動療法による改善をおすすめしています。群馬・埼玉県のマルチ採用校につきましては「自分でできる認知行動療法」（生徒向き講習会）、または、「職員研修会」をービスさせていただいています。 ご希望ありましたらお問い合わせください。
参考書籍	「愛着障害」　岡田尊司著／光文社新書 「愛着崩壊」　岡田尊司著／角川選書